

# 中之条町体育協会名称変更趣意書

## 「中之条町体育協会」は「中之条町スポーツ協会」へ 名称変更します

先人達が、守り伝えてきた中之条町のスポーツを未来に向け、次世代に伝え継ぐために平成30年4月6日をもって「中之条町体育協会」の名称を改め、「中之条町スポーツ協会」とすることを、ここに宣言する。

平成30年4月6日

中之条町体育協会長 割田三喜男

### ○中之条町体育協会のこれまでの歩みと未来に向けて

中之条町体育協会は、昭和33年に発足し、現在は21の専門部と5つの支部から構成されている。専門部においては、各種の町民大会や町民教室などにより体育の振興を図ると共に、競技力の向上を目指してきた。特に、吾妻郡民体育祭では、毎年全種目に参加し、多くの優勝を勝ち取るなど、吾妻郡での競技力の向上を牽引してきた。また、支部においては、町民運動会などにより、生涯スポーツの推進及び活力ある地域づくりに貢献してきた。

わが町は、少子高齢化や人口減少が一段と進み、各種町民大会の参加者の減少や町民運動会の廃止など、スポーツを取り巻く環境は厳しさを増している。

このような状況の中で、当協会としては、行政や各スポーツ団体との連携を一層強化し、主体的にわが町のスポーツの推進を図って行く必要がある。

平成3年に宣言した「みんなで参加楽しいスポーツ・中之条」のスポーツ宣言を改めて推進し、誰もが気軽にスポーツに取り組めるようスポーツ環境の整備・提供に努め、健康で明るい地域づくりを行うとともに、競技力の向上を図っていく。

特に、2020年の東京オリンピック・パラリンピックや2028年の群馬県での2回目の開催となる国民体育大会を控え、スポーツに対する気運を醸成し本町のスポーツの普及発展を図っていく。

日本体育協会と同様に、先人達が、守り伝えてきた中之条町のスポーツを未来に向け、スポーツという文化を次世代に伝え継ぐために平成30年4月6日をもって「中之条町体育協会」を「中之条町スポーツ協会」改称し、改めて力強く歩みを進めていくものである。

### ○主体的にスポーツを推進してきた日本体育協会

わが国においては、2011年スポーツ基本法が制定され、2015年にはスポーツ行政の一元化を図るスポーツ庁が発足し、従前のスポーツ行政に加えて、健康寿命の延伸、地域社会の活性化、国際交流・貢献の促進、経済の発展に寄与することなども柱としている。このような時代の変化に対応するように、スポーツ関係団体においては、これまで果たしてきた役割とともに、新たな役割を担うことが求められている。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、わが国におけるスポーツに対する関心はより一層高まりを見せている

まさに今、スポーツ界のさらなる発展の時を迎えており、日常生活の中でスポーツに親しむ人々が増えるとともに、人々のスポーツに対するニーズが多様化し、地域に根ざすスポーツ活動の重要性が増す中で、スポーツのより一層の発展に向けた取組みが求められている。

このような使命を果たすとともに、スポーツという文化を後世に継承していくため、体育の概念を包摂している広義のスポーツという言葉をもって、「日本体育協会」を「日本スポーツ協会」と改称し、改めて力強く歩みを進めていくものである。

(2017年6月23日 公益財団法人日本体育協会名称変更趣意書 抜粋)